

最新の防犯カメラの 設置・活用と映像技術

第12回 日本防犯設備協会 特別セミナー

日時

平成24年9月14日(金)
13:00~17:00

場所

浜離宮建設プラザ
〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12
TEL 03-3545-5156

13:00~13:10	協会からのご挨拶
13:10~14:10	①東京スカイツリーの開業に伴う防犯対策(最新の防犯カメラ設置) 墨田区総務部危機管理担当統括課長 副参事(警視庁生活安全部生活安全総務課管理官 警視) 清水 克修 氏
14:20~15:20	②防犯カメラと犯罪捜査 警視庁捜査支援分析センター 副所長 小山 由夫 氏
15:30~16:30	③バイオメトリクス認証技術と防犯ソリューションへの応用 日本電気株式会社 第二官公ソリューション事業部 上席ソフトウェアアドバンストテクノロジスト/エグゼクティブエキスパート 坂本 静生 氏

参加費: 会員・防犯設備士・総合防犯設備士・地域協会 4,000円 一般6,000円

8月22日までに申し込めば、
会員・防犯設備士・総合防犯設備士・
地域協会を3,000円、一般を4,000円
に割引いたします。

参加のお申し込み方法 (先着100名様)

申込書にご記入の上、当協会あてに、FAXあるいはE-mailで、平成24年9月12日(水)までにお申し込みください。また、当協会のホームページ上にもご案内が掲示されております。参加費は、銀行振り込みにて当協会までお振り込みください。ご入金の確認の上、受講票をお送りいたします。また、参加費は、お返しできませんので、ご本人が欠席の場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。

協会ホームページ <http://www.ssaj.or.jp/>

お振込先 三井住友銀行 浜松町支店 普通No. 6361015 公益社団法人 日本防犯設備協会

会場のご案内

<浜離宮建設プラザ 10階 大会議室>

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12
TEL 03-3545-5156

<交通のご案内>

【新橋駅】JR・銀座線・都営浅草線

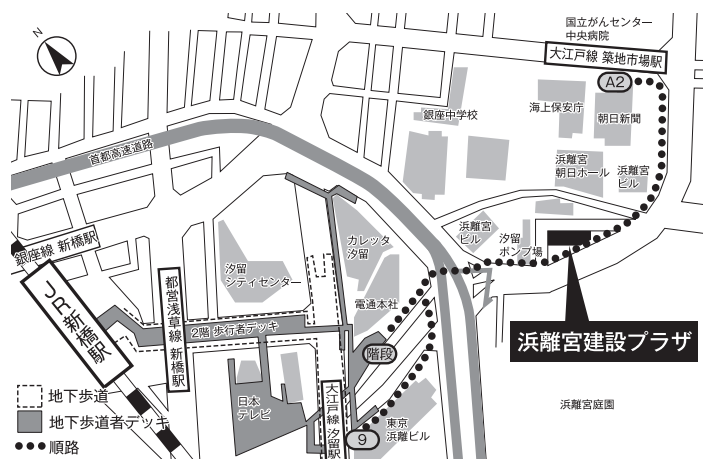
地上2階歩行者専用デッキでシオサイト方面、
カレッタ汐留(電通ビル)経由
首都高速下横断歩道を渡り右折すぐ
(徒歩約10分)

【汐留駅】都営大江戸線

9番出口より(徒歩約5分)

【築地市場駅】

A2出口(朝日新聞社前)より新大橋通りを
右折後道なり(徒歩約5分)



<http://www.parking.or.jp/org/map.htm>

第12回 日本防犯設備協会 特別セミナー お申込書

公益社団法人 日本防犯設備協会 TEL: 03-3431-7301 FAX: 03-3431-7304 E-mail: kazunari.tomohiro@ssaj.or.jp

御社名			
部署/役職			
お名前			
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	E-mail:
所属等	会員 ・ 防犯設備士 ・ 総合防犯設備士 ・ 地域協会 ・ 一般		

※FAXあるいはE-mailでお申し込みください。所属等の欄に○印をご記入ください。

講演内容



① 13:10～14:10

東京スカイツリーの開業に伴う防犯対策

(最新の防犯カメラ設置)

墨田区総務部危機管理担当統括課長 副参事(警視庁生活安全部生活安全総務課管理官 警視)

清水 克修 氏

講演概要

東京スカイツリーの開業に伴う防犯対策

- (1) 墨田区における防犯対策について
- (2) 街頭防犯カメラの現状と設置効果について
- (3) 東京スカイツリー周辺地域における防犯対策について
 - ① 街頭防犯カメラの設置
 - ② 「すみだ防犯センター」の開設
- (4) 防犯設備士の皆さんに期待すること

清水 克修 (しみず かつのぶ)

昭和33年4月13日生 岩手県出身

足利工業大学工学部電気工学科卒

第一種電気工事士、第一級陸上特殊無線技士

昭和56年6月 警視庁入庁

平成15年3月 警視庁生活安全部サイバー犯罪対策課情報班長

平成15年9月 警視庁生活安全部生活安全総務課生活安全対策第4係長

平成19年7月 グレートブリテン及び北アイルランド連合王国(イギリス)へ外国出張

平成20年9月 警視庁万世橋警察署生活安全課長代理

平成22年4月 警視庁深川警察署生活安全課長

平成24年4月 警視庁生活安全部生活安全総務課管理官(墨田区派遣)

平成24年4月～現職 ※ 墨田区危機管理担当統括課長として、墨田区内における治安対策に関する各種業務に従事



② 14:20～15:20

防犯カメラと犯罪捜査

警視庁捜査支援分析センター 副所長 小山 由夫 氏

講演概要

防犯カメラは、犯罪を行おうとする者に対して、その存在を意識させ、犯行を思いとどまらせる効果に加え、不幸にして犯罪が発生した場合、防犯カメラの画像は、犯人の特定、犯行の立証に極めて有効です。

その効果については、先般、渋谷駅構内で発生した刃物使用殺人未遂事件において、被疑者の防犯カメラ画像を翌日公開したところ、都民等から多くの情報提供があり、早期に犯人検挙に結びついた例からも明らかなように、殺人事件、コンビニ強盗、ひったくり事件等で防犯カメラ画像を有効に活用して、多くの事件が解決しているところです。

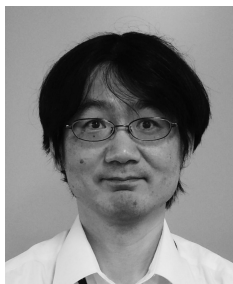
本講演では、

- 1 防犯カメラの有用性
- 2 防犯カメラに求められる機能と性能

について、犯罪捜査の観点から具体的事例を交えて説明します。

小山 由夫（こやま よしお）

- 1954年 東京都生まれ
- 1977年 東京工業大学工学部生産機械工学科卒業
- 1979年 東京工業大学理工学研究科生産機械工学専攻修士課程修了
- 1979年 東京芝浦電気株式会社入社（1984年 株式会社東芝に改称）
エネルギー機器の研究開発及び設計に従事
- 1997年 警視庁入庁（特別捜査官として採用）
科学捜査及び捜査支援業務に従事（現在に至る）



③ 15:30～16:30

バイOMETRICS認証技術と防犯ソリューションへの応用

日本電気株式会社 第二官公ソリューション事業部 上席ソフトウェアアドバンストテクノロジスト
／エグゼクティブエキスパート 坂本 静生 氏

講演概要

バイOMETRICS認証は生体もつ情報そのものを認証に利用する技術であり、米国9.11同時多発テロ以降大きな注目を集めている。出入国管理や国民IDなど国家的なソリューションへの応用を始め、民間での利用も広がっている。本講演では最新の技術として、顔認証技術及び指ハイブリッド認証技術とともに、そのソリューションについて述べる。

ごく近年オウム真理教手配犯の捜査で防犯カメラの重要性が極めて高く認知されることとなった。同時に防犯カメラで利用できるバイOMETRICS特徴として、顔を用いた認識技術の応用へ期待が高まっている。

そこで顔認証技術の客観的な精度評価として、世界各国の多くのベンダーが参加した第三者評価である米国標準技術研究所主催のMBE 2010とその結果を詳しく紹介する。さらに、最も高い認証精度を発揮した当社顔認証技術であるNeoFaceの技術の概要とソリューション例を述べる。

また、顔認証技術から見たときの防犯カメラについてまとめ、応用ソリューション実現へ向けての将来の課題を提言する。

一方、人の流れを制御する入退室管理は防犯の基本技術のひとつである。カードやパスワードなどでは防ぎきれない亡失や盗難のリスクをどう回避するかは依然として重大な課題である。

複数のカードやパスワードなどを合わせて用いる複合認証は、このリスク回避のアプローチの一つであるが一般に利用者へ負担を強いることになってしまう。

当社では指から、指紋と静脈の情報を同時に非接触で採取して照合することで、

- 同時採取なのでワンアクションで利用可能、負担増加なし
- 指紋及び指の中の静脈の二つの偽造は困難、これまでにないなりすまし耐性
- 米国標準技術研究所主催により世界一であるとの客観評価を受けた指紋認証技術と、指紋・顔といった世界一の技術を応用した静脈認証技術をさらに融合した非常に高い認証精度
- 多くの人が利用するソリューションでも、非接触で衛生的などの特徴を有する指ハイブリッド認証技術を開発した。この技術は、バイOMETRICS認証技術応用ソリューションで重大な課題であった未対応（何らかの理由でバイOMETRICS認証を利用できない人）がこれまで発生していないことも特筆すべき点である。

講演ではこの指ハイブリッド認証技術とそのソリューション例についても紹介する。

坂本 静生（さかもと しずお）

1963年 和歌山県生まれ

1987年 大阪大学理学研究科博士前期課程卒

日本電気株式会社入社後画像処理・画像計測・画像認識、特に顔画像の認識技術の研究開発に従事。

ICカード国際規格開発を担当するISO/IEC JTC1/SC17/WG4主査他、政府系調査研究等。

お問い合わせ・お申し込みは

公益社団法人 日本防犯設備協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-4 第2長谷川ビル4階／広報担当部長 友廣 一成

TEL:03-3431-7301／FAX:03-3431-7304

E-mail kazunari.tomohiro@ssaj.or.jp ホームページ <http://www.ssaj.or.jp/>